

【定時制】3学期終業式 校長式辞

皆さん、こんばんは。
今日で、この一年が終わります。
皆さんは、それぞれの立場の中で、確実に前に進みました。

仕事、家庭、さまざまな事情を抱えながら学校に通うことは、決して簡単なことではありません。
その中で積み重ねてきた一つ一つの経験が、これからの自分をつくります。

なかでも印象深かったのは、
今年度は全日制とのコラボレーションが多く見られたことです。

本校の施設改善を訴える陳情活動。
全日制男子バレーボール部の春高予選決勝への応援団への参加。
先日の卒業式では、全日制と定時制の卒業生によるサプライズ合同合唱も行われました。
また、市内のお店とコラボした商品開発に取り組み、全日制生徒への注文販売を行ってくれた生徒もいました。

これまでの定時制では、あまり見られなかった新しい取組が、
今年は数多く生まれました。
どれも、大きな勇気のいることだったと思います。

しかし、「やってみたい」という思いから一歩踏み出すことで、
皆さんは大きな経験を得ることができました。
ぜひ、来年度も「やってみたい」と思うことがあれば、
その一歩を考えてみてください。

また、新しい一年に向けて、ぜひ自分自身で考えてください。
「自分はどんな人間になりたいのか」
「そのために、この一年をどう使うのか」

与えられるのを待つのではなく、
自分で自分の一年をつくること。

そして――
人との出会いを、大切にしてください。

――人のせいにするか、自分で動くか。
その選択が、あなたの生き方を決めます。

一年間ありがとうございました。
皆さん一人一人の歩みが、これからも確実に前に進んでいくことを願っています。